

# 新ケミカル商事

菅智和 九州支店長



新ケミカル商事は2018年に北九州市に本社を移転し、東京本社との2本社体制を構築。今年8月には小倉駅前のランドマークである「セントシティー北九州」（北九州市小倉北区京町）に北九州本社を移転・拡充し、新たなスタートを切った。引き続き国際都市・環境未来都市である北九州市の立地を生かして行政機関や地元企業などと連携したビジネスを志向し、「地方創生」をテーマに独自性の高い事業を推進していく。

新オフィスのコンセプトは、商社らしい「働き

## 北九州本社を移転・拡充



新オフィスの入り口

方」を実現し、発信力のある「魅せるオフィス」。同社は2024年8月に設立20周年を迎える。世の中の変化に対応し、「北九州から、全国・世界へ」と、さらなる飛躍を果たすため、その旗艦となる本社オフィスのリ

ニューアルを実施した。面積は従来約2倍を確保。働き方改革に対応するとともに発信力を強化し、北九州での採用拡大、事業拡大を目指す。新ケミカル商事はSDGsにグループ会社を含む全社を挙げて取り組んでいる。樹脂リサイクル、溶剤リサイクルなどを手がけ、社会に貢献してい

### 「全国・世界へ」事業展開

る。九州地域において重要事業として位置づける環境ビジネスでは発電所、ごみ焼却施設、工場の排ガスなどの脱硝用に使われるアンモニア水の製造・供給を行っているが、協力会社との連携を緊密にして顧客の多様な要望にワンストップで応える体制を構築する方針だ。SDGsの一環として伝統芸能の能楽を通して、北九州の素晴らしさを地元の小中学生に知ってもらおうべく、北九州市、北九州商工会議所の協力も得て「能楽で地域活性実行委員会」を立ち上げ「能楽出前授業」を実施している。九州地区では地元とのつながりも大切にしており、地域社会貢献活動や文化支援活動を積極的にしている。来年は同社設立20周年を記念したクラシックの冠コンサートを開催する予定となっている。